

修学旅行新聞

五十九年度修旅へ始動

57年度 約二十万名を安全輸送

近修委

五十九年度の計画

修学旅行基準概要調査書

一本年度版を刊行

発行所 財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人 早川泰雄
東京都千代田区西神田
2丁目8-7(福ビル)
電話(03)2426-2932
振替(東京)3-36337

修学旅行は学習を社会へ移したもので、生活指標及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従つて修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究し、常にその改善に努力しつづけ育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた責務である。

(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

国鉄との折衝

高知県支部長に
土居正実氏

会の高知県支部長に、十月一日付で土居正実氏が就任した。

土居氏は、昭和十五年高知県師範学校専攻科卒業、県内議会議員として七期二十八年間。この間高知県教育公務員弘長もつとめ、現在その職にあ

る。

修学旅行基準概要調査書

本年度版を刊行

付で土居正実氏が就任した。

土居氏は、昭和十五年高知

県議会議員として七期二十八年間。この間高知県教育公務員弘長もつとめ、現在その職にあ

る。

修学旅行基準概要調査書

本年度版を刊行

表3. 目的地

目的地年度	関 西	九 州	中 国	四 国	北 海 道	東 北	沖縄韓国
45年	18.1	42.0	2.3	7.2	13.2	7.2	
49年	18.0	38.0	7.8	4.0	17.0	8.5	
52年	23.0	43.0	5.0	1.7	16.0	7.0	2.6
54年	23.0	39.0	6.0	1.3	16.0	6.0	5.0

(単位: %)

六、目的地
九州では西九州の伸びがあり、関西の増加が見られ、北海道も安定した目的地として定着している。

このことに関して、各学校で宿泊では、従来一般客しか扱はなかったホテル等も積極的に修学旅行の受け入れに乗りだし、修学旅行にまた期待をつなぐよ

研 究

【関西支局】近畿地区あおぞら号運営協議会(会長大阪府小学校長会長、大阪市立曾根崎小学校長対島熊雄氏)では、現在本年度後期の小学校修学旅行を実施中である。
期間は9月十六日から十一月十九日まで、大阪府、市立百八十二校、四方四千一百三十名の児童が、近鉄あおぞら号の特別割引で、快適な旅を楽しんでいる。
なお、前期は四月二十二日から七月二十八日まで、大阪府、

市、奈良県、兵庫県から五百七十七校、四万四百六十五名の児童が、田滑に、無事故で修学旅行を実施した。

八万四千七百人が実施
—あおぞら号の特別割引で—

市、奈良県、兵庫県から五百七十七校、四万四百六十五名の児童が、田滑に、無事故で修学旅行を実施した。

童が、田滑に、無事故で修学旅行を実施した。

行を実施した。

行を実施した。